

【保健医療福祉分野の専門職を目指す学生さん向け】

多職種連携ワークショップ開催のお知らせ

～自宅で過ごしたい思いを支える：退院支援から在宅ケアへ～

「もう入院はしたくない。家でうまいものを食って、湯船につかりたい」
そんな願いを、私たちはどのように支えられるでしょうか？

異なる専門領域を学ぶ学生さん同士が集まり、一人の患者さんのこれからの生活を考えるワークショップです。食・栄養支援サービス「ぼけにゅー」を使って、楽しく学ぶ機会です。気負わず楽な気持ちでご参加ください。

日時:2026.5.2(土)13:00～17:00 (受付12:30～)

場所:相模女子大学 11号館 1階 1113教室 (詳細は裏面)

内容:多職種による事例検討

(退院前・在宅ケアカンファレンスを想定して)

参加予定:管理栄養士、社会福祉士(学内)

看護師、薬剤師(学外)をめざす

学生のみなさん



事例の概要

血液内科にて骨髄異形成症候群と診断。

2か月の入院を経てリハビリ目的で地域包括ケア病棟に転院。

入院時より心不全の悪化がみられたものの、現在は小康状態でADLは自立、退院の方針となりました。「家でうまいものを食いたい」「湯船につかりたい」と自宅での生活を希望されています。以前は近所づきあいや自治会活動にも積極的で、娘さんと庭の金柑でジャムづくりを楽しむような、活動的な生活を送っていました。近隣に住む長女を中心に家族は協力的。「自宅で本人のいいように過ごさせてあげたい」と自宅環境の整備や補聴器の準備などに奔走されています。

参加学生さんへのお願い

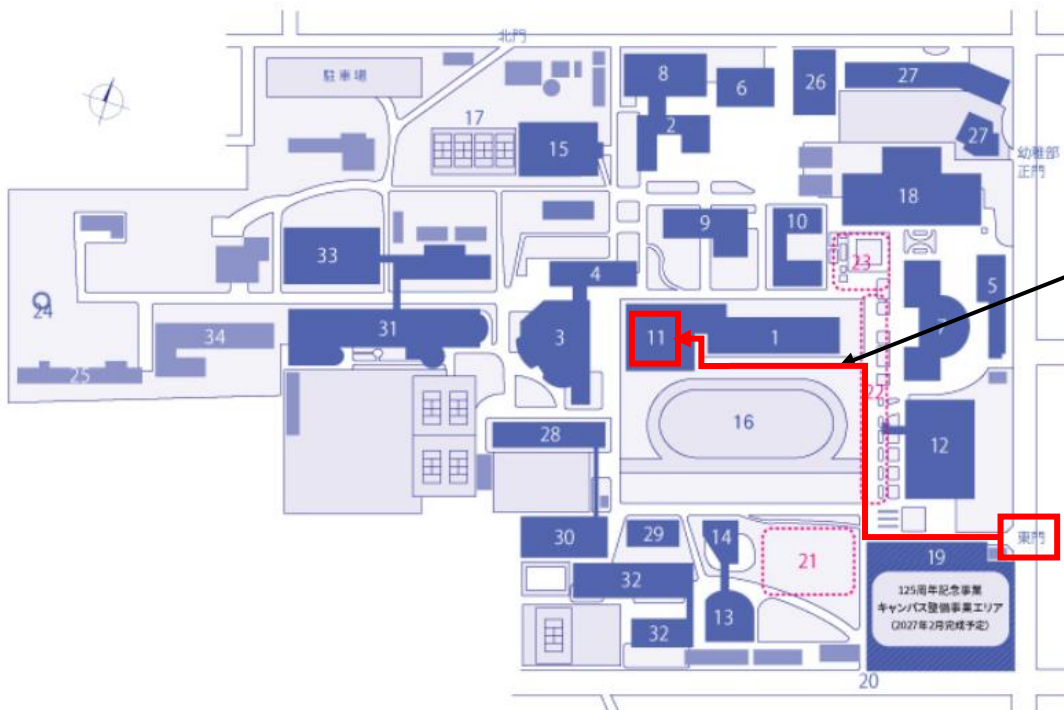
自分の専門職について他職種の学生さんに知ってもらうにはどのようにお伝えするとよいでしょうか？グループワークの中で、お互いに紹介し合ってください。専門用語は極力使わずに、あなたの専門性が患者さんへの支援にどう貢献できるか(役割や大切にしたいことなど)、自分なりの言葉で準備してきてください。

会場のご案内



■ 小田急相模大野駅から徒歩10分（東門・正門まで10分）

- ・ 相模大野駅の中央改札を出て右へ曲がり北口へ。
- ・ デッキに出たら駅を背に左へ曲がり、ポーノ相模大野方面へ200mほど進みます。
- ・ 正面にエスカレーターが見えたら、**その手前で右へ曲がり**ます。
- ・ 50mほど先のエスカレーターで1階に下り、「キャンパス通り」を直進します。
- ・ ロビーシティ前交差点を斜め左へ直進し、「女子大通り」を直進します。
- ・ 「相模女子大前交差点」を渡って**右へ曲がり**、50mほど進んだ左手にあるのが、本学の東門です。＊徒歩でお越しの方は**東門**をご利用ください（正門もご利用頂けます）。



■11号館
 グラウンド沿いに進み、階段を昇って右折すると入口があります。

会場
 11号館1階1113教室